

「救いの本質と目的」 一補足と適用②一

エペソ 2:1~10

I. 何故「キリストと一つ」にされる必要があるのか？

(1) 世の価値観に従って歩んでいた

「もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよりもわたしを先に憎んだことを知っておきなさい。」 ヨハネ15:18

「邪悪なこの時代」 マタイ 12:45

(2) サタンに従って歩んでいた

「その場合、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。」 II コリント 4:4

(3) 肉の欲の中に生きていた

「肉の思いは神に対して反抗するものだからです。」 ローマ 8:7

「神が地をご覧になると、実に、それは、墮落していた。すべての肉なるものが、地上でその道を乱していたからである。」 創世記 6:12

「ああ、私は咎ある者として生まれ、罪ある者として母は私をみごもりました。」 詩篇51:5

II. 「キリストと一つ」にされるとは、どういう意味か？

(1) キリストと共に生かされた

「主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目ざめていても、眠っていても、主とともに生きるためです。」 I テサロニケ 5:10

(2) キリストと共によみがえった

「私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減びて、私たちがもはやこれからは罪の奴隷でなくなるためであることを、私たちは知っています。死んでしまった者は、罪から解放されているのです。」 ローマ 6:6.7

「私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあって新しい歩みをするためです。」 ローマ 6:4

「あなたがたは、わたしの飲もうとする杯を飲み、わたしの受けようとするバプテスマを受けることができますか。」 マルコ 10:38

(3) キリストと共に天に座らされた

「私たちの格闘は血肉に対する者ではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。」 エペソ 6:12

III. 「キリストと一つ」にされる事は、どのような結果をもたらすのか？

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」 II コリント 5:17

「しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが決してあってはなりません。この十字架によって、世界は私に対して十字架につけられ、私も世界に対して十字架につけられたのです。割礼を受けているか受けていないかは、大事なことはありません。大事なのは新しい創造です。」 ガラテヤ 6:14.15